

平成 27 年度 株式会社リオ・ホールディングス 連結事業報告書

当連結会計年度（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）における国内経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等の効果により、企業業績や個人消費が堅調に推移し、緩やかな回復基調が続きました。

不動産業界においては、賃料上昇の期待や良好な資金調達環境を背景に不動産取引が活発に行われました。取引の活性化に伴い、都心部の物件を中心として不動産価格は上昇傾向にあります。東京都心 5 区における平成 27 年 12 月末時点の平均空室率は 4.03%と、前年同月比 1.44 ポイント下落しました。また、同エリアの同時点における平均賃料は 17,692 円/坪と、小幅ながら引き続き上昇しています（三鬼商事調べ）。

このような状況の中、当連結会計年度も引き続きコンサルティング案件数及び不動産預り資産残高の増加に向けて取り組みました。特に、当社グループが注力しているスペシャルサブリース（利回り保証付建物賃貸借契約による収益不動産の一括借り上げ）については、クライアントによる新規物件購入によって当連結会計年度に 12 物件増加しました。不動産価格の上昇に伴い、新規スペシャルサブリース物件の増加ペースは鈍化しておりますが、改修工事等による投資も抑制されました。一方、リーシング活動を通して物件の稼働率が上昇したことによって、全体の収益力は向上しました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高 8,877 百万円（前期比 11.7%増）、営業利益 1,137 百万円（前期比 139.6%増）、経常利益 903 百万円（前期比 158.7%増）、当期純利益 988 百万円（前期比 301.6%増）となりました。